

**菊地 謙太 議員
(一問一答方式)**



- ①選挙公報の導入による有権者への情報提供の充実について
- ②DX推進による行政サービス向上と課題について
- ③長浜港内港埋立事業の必要性と市民理解について

選挙公報の導入を実施していない理由と今後の予定について

問 9月に実施された市議会議員選挙において選挙公報を発行しなかった理由と、今後の市長選挙、市議会議員選挙での導入予定について伺いたい。

答 これまで市が選挙公報を発行していなかった理由としては、市長選挙や市議会議員選挙といった市の選挙の選挙期間は7日間となっており、その期間内に印刷、封詰め、発送などを行わなければならぬことから、紙媒体の選挙公報が有権者へ届くのが投票日直前となる見込みとなり、期日前投票が増加している中で、有効性に乏しいと判断してきたためです。

選挙公報は立候補者の政策やプロフィールなどを十分に掲載でき、有権者に対し、情報を提供できる有効な手段であるため、発行が投票日直前となるという課題はありますが、紙媒体での提供だけでなく、ホームページにデータを公開することで早期の情報提供も可能となるため、当市の選挙においても選挙公報の導入を前向きに検討していくと考えています。

市公式ホームページAIチャットボットの活用状況について

問 市ホームページで運用しているAIチャットボットは、利便性向上に向けた改善の余地があると考えるが、現状の課題と、その対応策について伺いたい。

答 市公式ホームページで運用していたAIチャットボットについては、ホームページのアクセス数に対して、利用件数の割合が約1%にとどまっていることを踏まえ、11月から運用を休止しています。

市が導入している現行のAIチャットボットは、あらかじめ作成した想定問答を基に回答する、いわゆるシナリオ型という仕組みのため、随時この想定問題も追加、更新する作業が必要となり、高い正答率を得るためにには多くの時間と労力を要します。

AI関連サービスは目まぐるしく進展をしており、デジタル技術の導入に当たっては、こうした最新の動向を注視するとともに、市民サービスの向上と業務の効率化を図るうえで、どの業務においてどのサービスが適しているのか、またその費用対効果もしっかり分析を行いながら検討を進めていきたいと考えています。

長浜港内港埋立事業への市民理解について

問 本事業について、市民からどの程度理解を得られていると認識しているのか。また、市民理解に課題がある場合、どのような対応を行う予定か伺いたい。

答 当市ではこれまで事業内容の周知に努めており、基本計画策定検討会での検討結果や、パブリックコメントの実施状況を市公式ホームページで公表するとともに、基本計画策定後は、長浜まちづくり協議会や大洲市全体の自治会連絡会議、各自治会の市政懇談会の場でも事業内容について説明を行うなど、広く事業の周知に努めてきました。

市政懇談会において、一部では計画期間の長さや財政負担に対し心配される声もありましたが、意見の多くは、早く埋立てを実現できないか、次の世代に必要であるためぜひ進めてもらいたい、快適に利用できる施設にしてほしいなどの意見のほか、地域の青年農業者で組織される長浜未来協議会からは、埋立地に直売所など人が集まる場所をぜひ整備してほしいとの要望もいただいているところです。

市民理解への課題に対する対応としては、市政懇談会で得られた様々な意見や要望と、それに対する市の考え方を市公式ホームページで公表するなど、市民の皆様に事業への理解を一層深めていただきながら、事業の進捗や検討状況を分かりやすく、タイマーにお伝えすることが重要ではないかと考えています。